

: ° ☆。 , :: ★。 , :*: ° ☆。 , :*: ° 。 , :*: ° ☆。 , :*: ★。 , :*: °



みらいつうしん

1月号

2025年1月10日
田園調布学園大学
みらいこども園
園調 勝浦 芳子



☆ : ★。 , :*: ° ☆。 , :*: ° 。 , :*: ° ☆。 , :*: ★。

あけましておめでとうございます

2025年は、元旦から良いお天気に恵まれ、久しぶりに穏やかな新年を迎えることができました。皆様におかれましても、良いお正月を過ごされたこととお喜び申し上げます。いよいよ、それぞれの学年も、1年の集大成を迎える3学期がスタートしました。次の学年により豊かな形で進められるよう職員一同心を1つにして努力して参ります。どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、今年は「巳年」です。巳年のシンボル「蛇」は、強い生命力と知恵を持ち脱皮するごとに成長する姿から、「変化」と「再生」を意味する生き物として知られ、「不老長寿」「神の使い」として信仰されてきました。2025年の干支は、『乙巳』= (きのと・み) です。新たな挑戦によって進化と成長するチャンスが広がる年として期待されています。また、巳年は、財宝に恵まれ、富が巡りやすいとの言い伝えもあるので、特に景気上昇も期待したいですね。子ども達にとっても、新しい可能性が開かれる年でもあるので、今まで目標にしてきたことや努力してきたことは、より一層頑張り続けて実を結んで欲しいと切に思います。

昨年話になりますが、今年度も、12月下旬に、田園調布学園大学の仙田先生とゼミの学生から、みらいこども園の子ども達に、DCU 自家製の野菜とメッセージカード、リースが届きました。子ども達は、「ワ～すごい！たくさんの野菜だ！」「カードもあるよ！」と、大喜び！突然の贈り物にびっくりしていました。その後、野菜は給食のメニューに取り入れてもらい美味しく頂き、手作りのリースは各クラスのお部屋に飾りました。そして、にじ組さんが代表で、お礼のお手紙を作成し、大学に送りました。大学生との交流がこれからも続くといいですね。

12月21日、『アンパン』の作者：やなせたかし氏の最後の編集者と言われている平松利津子氏を調布学園校友会にお呼びし、講演会が行われました。この方は、やなせたかし氏に中学生の時に出会い、あこがれ続け、ついにやなせたかし氏の編集者になった方です。やなせたかし氏は、心が広く、偉大で人に対してとても優しく、最後まで、人を喜ばせることを忘れない方だったそうで、編集者の平松氏にも、「善人でいなさい。人を喜ばす仕事をしなさい」と言い続けられたそうです。今年4月から放送される朝のNHK連続テレビ小説「あんぱん」では、このやなせたかし氏の人生が描かれるそうで、生い立ちやなぜ、「アンパンマン」が誕生したのかなども明かされるとのことです。亡くなられた後も、アンパンマンの魅力は衰えることがなく、未だに子ども達のヒーローで居続けるのは、作者の大切にしている「人を大切にし、喜ばせること」を「アンパンマン」を通じて、生涯実践されたからだと感じます。また、講演してくださった平松氏の、「諦めずに追いつければ夢は叶う」ということも未来を担う子ども達にぜひ伝えたいと感じました。幼少期の絵本の読み聞かせは、人生の心の糧を作ることも今回の講演を聞いて、さらに痛感しました。こども園でも、絵本についてより深く受け止め、豊かな心が育つよう子ども達に提供していきたいと思ひます。



獅子舞いづくり



たこたこあがれ～

クネクネへびとお散歩

